



成果指標				
成果指標	配置人員／配置すべき人員×100			
指標設定の考え方	配置が必要と認めた人員については、確実に配置する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	0	1	0	0
実 績	0	1	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	就学指導委員会の判断に基づき適正な支援員の配置を行うことにより、学校や保護者と連携のうえ適切な介助を行い、生徒が円滑に学校生活を送れた。また、正規職員のいない学校へ校務員を配置することにより、教育環境の維持整備が行われた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	生活支援員については、人材の確保が課題である。研修の実施などにより資質の向上を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題